

学習指導案（国語科）

教育実習生名
指導教員名

一 対象

三十五名

二 日時

平成二十九年六月九日（金曜日） 第六校時 二：二五～三：〇五

三 場所

四 単元名（教材名）

『物語るといふ欲望』内田樹（「精選現代文B」筑摩書房）

五 単元について

(1) 教材観

本教材は映画を素材とし、現代思想について説いている「映画の構造分析―ハリウッド映画で学べる現代思想」による抜粋である。実際の実験や身近な日常の例を用い、現代思想に触れながらも、人間の思考について理解を深めていくことができる。そのため、前回の単元である「思考バイアス」で論じられていた『帰納的推論』との関連にも着目し、内容理解だけでなく日常生活でわたしたちが無意識に行っている思考の仕組みに気付ききっかけをつくりたい。また、文学などに触れる際に行われているのは「読む」という受動的な活動だけでなく、「意味を生成する」という相互的なコミュニケーションがあることを感じさせたい。

(2) 生徒観

特進クラスのいうこともあり、学力の水準も高く集中力も高い生徒が多いクラスである。文系クラスのため、国語に対する学習意欲も高く、話し合いの機会を与えると理由もともに考え、相手に伝えることのできる生徒も多くいるクラスである。しかし授業中に積極的に発言する生徒はあまり多くないクラスである。

(3) 指導観

本教材には独特の言い回しや比喻表現が多く用いられている。そのことにも留意しながら、抽象的な概念を具体化し理解するということに焦点を当てて指導を行いたい。また、本文の内容を読み解き、自分の中で噛み砕きアウトプットを行うことで理解を深めることはもちろん、語彙力、表現力などの伸長も図りたい。

六 単元の目標

- 抽象的な概念について理解し、考察を行うことができる。（ウ）
- 著者の独特な比喻表現を味わい、意図を理解することができる。（ア）
- 語彙を豊かにし、自分の考えを深めることができる。（オ）

七 単元の評価規準

読む能力	国語への 関心・意欲・態度
<ul style="list-style-type: none"> ○ 抽象的な概念について理解することができる。 ○ 著者の喩えについて具体化しまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語彙の意味を調べるなど、予習を行い授業に臨んでいる。

書く能力	言語についての知識・理解・技能
<p>○著者の伝えたい事を理解し、表現することができる。</p> <p>○教科書の語彙を用い、本文の要点を表現することができる。</p>	<p>○本文中の情報を読み解き、意図を理解することができる。</p> <p>○論文の構成を理解し、段落分けをすることができる。</p> <p>○言い換え表現を読み取ることができる。</p>

八 単元の指導計画(単元目標を達成するための指導計画を示す。)

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準 (評価の観点)
一	<p>○黙読をし、段落分けする。(意味段落一段落目(p56~58, 14~))</p> <p>○「モジューヒンの実験」についてまとめる。</p> <p>○「奇妙な抵抗感」が「解釈したい」という欲望に点火することについて理解をする。</p> <p>○一段落目のまとめ。</p>	<p>●予習の確認を行う。</p> <p>●教科書から抜き出して答えさせる。</p> <p>●都市伝説を例に用い、「解釈をしたい」という気持ちに共感させる。</p>	<p>論文の構成を理解し、段落分けをすることができる。【知】</p> <p>語彙の意味を調べるなど、予習を行い授業に臨んでいる。【関】</p> <p>本文中の情報を読み解き、意図を理解することができる。【知】</p> <p>著者の例えについて具体化しまとめることができる。【読】</p>
二	<p>○黙読をする。(意味段落二、三段落目(p58, 15~最後))</p> <p>○なぜ解釈をしたか気持ちになるのかをまとめる。</p> <p>○「わけのわからない方向」が何かを考える。</p> <p>○本時のまとめ</p>	<p>●教科書から抜き出して答えさせる。</p> <p>●思考パイアスと絡めながら説明をする。</p>	<p>著者の例えについて具体化しまとめることができる。【読】</p> <p>抽象的な概念について理解することができる。【読】</p>
三	<p>○黙読をする。(意味段落三段落目(p59, 13~最後))</p> <p>○何かがないときについて考える。</p> <p>○本時のまとめ</p>	<p>●本時までには押さえたところを反映させながら説明する。</p>	<p>本文中の情報を読み解き、意図を理解することができる。【知】</p> <p>抽象的な概念について理解することができる。【読】</p>
四	<p>○文章の断絶と物語を指摘する。</p> <p>○具体例を考える。</p> <p>○要約をする。</p>		<p>著者の伝えたい事を理解し、表現することができる。【書】</p>

九 本時案（第一時）

- (1) 本時の目標
- ・モジューヒンの実験を用いた著者の主張を理解する。
 - ・『奇妙な抵抗感』について理解する。

(2) 本時の展開

時	指導上の留意点	評価基準 (評価の観点)
<p>学習活動</p> <p>時</p> <p>○黙読をし、段落分けを行う。 (意味段落一段落目 (p56~58、14))</p> <p>・形式段落と意味段落に番号を振る。</p>	<p>● 予習の確認を行う。</p>	<p>語彙の意味を調べるなど、予習を行い授業に臨んでいる。【関】</p>
<p>導入 (10分)</p> <p>○①④</p> <p>「モジューヒンの実験」についてまとめる。</p> <p>・この実験を通し、何がわかったのかを考える。</p> <p>・この実験を通し、何を伝えたいのかを考える。</p>	<p>● 教科書から抜き出して答えさせる。</p> <p>『実はこれは「違う意味」だった』(p56、110)</p> <p>● 意味は一方的に作られているのではなく、観客も意味を作り出しているということに意識し、教科書から抜き出して答えさせる。</p> <p>『映画のうちに〜成立している。』(p57、12)</p> <p>★ 机間指導を行い、進度の遅れている生徒に対し声掛けを行う。</p>	<p>本文中の情報を読み解き、意図を理解することができる。【知】</p> <p>A, 実験結果、またそこから著者が何を伝えたいか理解することができる。</p> <p>B, 実験結果は読み取れるが、そこから著者が何を伝えたいのか理解ができない。</p> <p>C, 実験結果も読み取れず、著者が何を伝えたいのかも理解することが困難である。</p>
<p>展開 (35分)</p> <p>○⑤⑦</p> <p>「奇妙な抵抗感」が「解釈したい」という欲望に点火することについて理解をする。</p> <p>・何がわたしたちを「解釈したい」という気持ちにさせるのかを考える。</p> <p>・「奇妙な抵抗感」について、理解を深める。</p>	<p>● 教科書から抜き出して答えさせる。</p> <p>『奇妙な抵抗感』(P58、11)</p> <p>● 都市伝説を例に出し「奇妙な抵抗感」について説明をする。ここで、「解釈したい」という気持ちに共感させる。</p>	<p>著者の例えについて具体化し、まとめることができる。【読】</p>

	活動内容	指導上の留意点	評価基準 (評価の観点)
まとめ (5分)	<p>○一段落目のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本段落について端的にまとめ た文の穴埋めを行う。 	<p>●穴埋めをさせる。</p> <p>映画に解釈を加え、意味を(形成)するのは、(観客)である。</p>	<p>教科書の語彙を用い、本文の要点を表現することができる。</p> <p>【書】</p>

十 板書計画

物語るといふ欲望 内田樹

一、

①④ 『モジューヒンの実験』

モジューヒンのクローズアップ ↓ ① スープ皿：苦々しさ

↓ ② 玩具で遊ぶ少女：微笑

↓ ③ 死んだ女：哀れみ

↓ 「同じカット」に観客が自ら書き込んだ「違う意味」

【映画の意味は主体的な観客の参与があつて形成されている】

⑤⑦ 「解釈したい」といふ欲望に点火するもの Ⅱ 「奇妙な抵抗感」

(例)

となりのトトロであったはずのメイちゃんの影がなくなっている。

(奇妙な抵抗感)

←

となりのトトロは実際にあつた事件を元にしており、影がなくなったということはその時点でメイちゃんが死んでいるということなのでは。

(新しく私たちが作った意味)

映画に解釈を加え、意味を【形成】するのは、【観客】である。

十一 準備物

教師：教科書、ノート、辞書

生徒：教科書、ノート、辞書